

令和6年8月28日

3年A、D組保護者様

瀬戸内市立牛窓中学校
校長 光信 謙吾

令和6年度学力・学習状況調査について

残暑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育の推進のため格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、1学期に実施しました全国学力・学習状況調査（国語、数学）及び瀬戸内市学力調査（英語）につきまして概要をお伝えしますとともに、次の点にご留意ください。

- 1 学力・学習状況調査は、あくまで前年度までの学習内容を4月の時点で調査したものであること
- 2 様々な学力の一側面であること
- 3 通知表の評価・評定には無関係であること
- 4 この分析結果に基づいて今後の学習指導を進めてまいります。ご家庭でもご協力をお願いしたいこと

【学力調査】

国語	インターネット辞書やフィルターバブル現象（検索履歴に応じて、利用者の好む情報が優先的に表示される現象）など、現代的な諸課題について警告の意味も込めて出題されていました。政治、経済、社会の動きを伝える報道に意識して触れることで、自分の考えを持つ必要があります。
数学	定義や等式変形などの知識・技能は、練習することで身に付けることができます。一方、グラフやデータから事象を解釈することや、数や図形などの諸条件を変えて新たな性質を見つけること、さらにはそれらを数学的に説明することについては、意図的・計画的に授業に取り入れて高めていきます。
英語	水問題、ゴミで作ったアート、祭りなどの話題から出題されていました。玉野海上保安部と実施した水質実験、瀬戸内市立美術館で開催中の段ボールアート展、牛窓花火大会など、多様な体験が英文の理解を助けます。英作文については、まずは日本語で自分の考えとその理由を説明する力が必要です。

【学習状況調査】

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の4件法で回答しています。

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に「当てはまる」と答えた3年生の割合は、本校は40.0%（全国26.4%）もあり、総合的な学習の時間の取組が一定の成果を上げたと受け止めています。また、「2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」に「ほぼ毎日」と答えた3年生の割合は、本校は51.4%（全国31.0%）もありました。引き続き、効果的な活用方法について研究を重ねてまいります。一方で、「平日の家庭学習が2時間以上」と答えた3年生の割合は、本校は11.4%（全国31.7%）で低調でした。残る中学校生活の中で再び自律的な学習者を目指して、学校生活の1日の最後にPSTで家庭学習の計画を立て、タブレットの持ち帰りによって個別最適な学習を推進してまいります。

